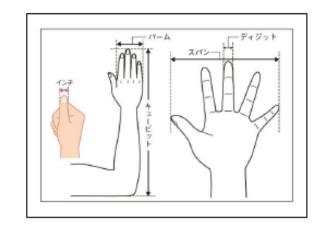
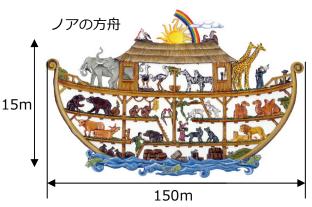
●人間の体を基準とした長さ

- ・大昔の紀元前 6 千年頃、古代メソポタミアでは当時の 王の腕の長さが長さの単位として使われていました。 「キュービット」という単位で、1キュービットは肘か ら中指の先端までの長さ、大体 43~53cm くらいで す。ピラミッドもこのキュービットを基準にして作られ ました。
- ・旧約聖書に登場するノアの方舟の大きさは、長さ300 キュービット、幅50 キュービット、高さ30 キュー ビットといわれているので、1 キュービットを概略 0.5m とすると、長さ150m,幅25m,高さ15m 程度の大きさの船ということになりますね。
- ・手のひらをひろげたときの親指の先から小指の先 までの長さは「スパン」と呼ばれ,キュービットの 半分の長さとされました。





- ・1キュービット=2スパンで、実際に手のひらをひろげて 腕に当ててみると納得できます。なお、スパンという言葉はいまも建築の寸法規模を表す単位として 使われていて、1スパンといえばおよそ6~7メートルほどの寸法です。
- (注)「キュビット」はラテン語で「肘」を意味している。
- ・親指以外の4本指の幅は「パルム」と呼ばれ,これはスパンの1/3 に当たります。
- ・親指以外の指 1 本の幅は「ディジット」と呼ばれ,「パルム」の 1/4 に当たります。ディジットは現代のデジタルの語源とされています。
- ・親指の幅は「インチ」と呼ばれ、この単位は現在も使われています ね。実際に親指の幅を測ってみると確かに1 インチ(2.54cm)程 度あります。



- ・手や腕ばかりでなく、足の幅も「フート」という単位となっていました。これから現在のフィートが 連想されます。1 フィートは 30.48cm だから、昔の人の足は結構大きかったのでしょうか。
- ・花子: なるほどねぇ~。道具もなにもなしで、最も手っ取り早いスケールね。
- ・K 氏: そうだね。いままで出てきたスケールをまとめておくと次のようになる。
 - 1 キュービット= 2 スパン
 - 1 スパン= 3 パルム
 - 1 パルム= 4 デジット